

データサイエンス入門

更新日：2026/02/20 12:02:46

開講年度	2026	学期	1期, 2期	科目コード	L5190	授業コード	L519001
担当教員	柳楽 明伸						
配当	学部/学科	大学 グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科, 大学 健康発達学部 食健康学科, 大学 健康発達学部 こども学科					
	配当時期	—	曜日/時限	水曜日4限	単位	2	

授業の概要

本授業では、データ分析の基礎やデータを扱う上での注意点を学ぶ。Excelを用いた演習を中心に、データの整理方法、記述統計によるまとめ方、グラフや図表による可視化、簡単な統計処理の実行と結果の読み取りを扱う。データの活用方法を自分の言葉で説明できることを目指す。これに加えて、データ分析とAIの関係や、生成AIの適切な利用についても概説する。

到達目標

1	データの活用方法を説明できる。
2	データの要約統計を作成し説明できる
3	データの可視化ができる。
4	適切な図表を作成し、データの特性を説明できる
5	簡単な統計処理を実行し、その結果を説明できる。

キーワード

データサイエンス、データの統計処理、AI

履修要件

PCを用いたデータ分析を行うため、PCの操作ができることが必要となります。

教授方法（講義／演習／実験／実習／実技）

講義・演習、Excelを用いた演習を行います。

授業の形態（対面／オンライン（同時双方向）／オンデマンド／対面とオンライン・オンデマンドの併用）

対面

授業で使用するICTツール（Melly, Glexa, Teams, Zoom ほか）

Teams

アクティブ・ラーニングの要素の有無

有

授業計画

1	ガイダンス：データサイエンスとは
2	データ分析の活用
3	データとAI
4	データの誤差とばらつき
5	データ分析におけるバイアス
6	因果関係と相関関係
7	データサンプリングの考え方
8	記述統計1：データの種類と代表的な値
9	記述統計2：データの可視化
10	2変数の関係とその可視化
11	データの解釈の注意点
12	データ分析：統計的仮説検定
13	データを扱う上での注意点：倫理・セキュリティ
14	まとめ:Excelを用いた総合演習

教科書・テキスト

基本方針	特に指定しない			
必須/推奨	書籍名/資料名	出版社	出版年月	備考

参考書・参考資料等

江崎貴裕, 分析者のためのデータ解釈学入門 データの本質をとらえる技術, ソシム, 2020

授業外における学習

講義後に出す課題に取り組むこと。配布資料を読み、予習や復習に取り組むこと。

成績評価

共通の評価基準	【S】基本的な到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果をおさめている。【A】基本的な到達目標を十分に達成している。 【B】基本的な到達目標をおおむね達成している。【C】基本的な到達目標を最低限度達成している。【F】基本的な到達目標を達成していない。再履修が必要である。	
評価項目	割合	評価基準
課題	50%	講義で扱った計算問題や図表の可視化をできているか
期末試験	50%	データサイエンスにおける分析やデータの読み取り、データの扱いに関する注意点を理解できているか
合計	100	

質問や相談への対応

オフィスアワーで対応します。日時は未定、講義時にお知らせします。

受講生に望むこと

自分でPCを使って手を動かしながら学ぶことが重要です。

その他・特記事項

演習ではPCを用います。

(実務経験のある教員が授業を担当する場合のみ) 実務経験及びその内容